

## 8. 河道特性

小川原湖は、海面低下と砂州の成長により外海と切り離され形成された海跡湖であることから、湖は低平地に位置しており、海面との水位差はほとんどない。小川原湖と太平洋をつなぐ下流高瀬川の延長は約 6km であり、河床勾配は約 1/30,000 である。

一方、小川原湖に流入するまでの高瀬川(七戸川)の河床勾配は、上流の小坪溪流で約 1/50 であり、全域では約 1/50 ~ 1/2,000 の範囲にある。

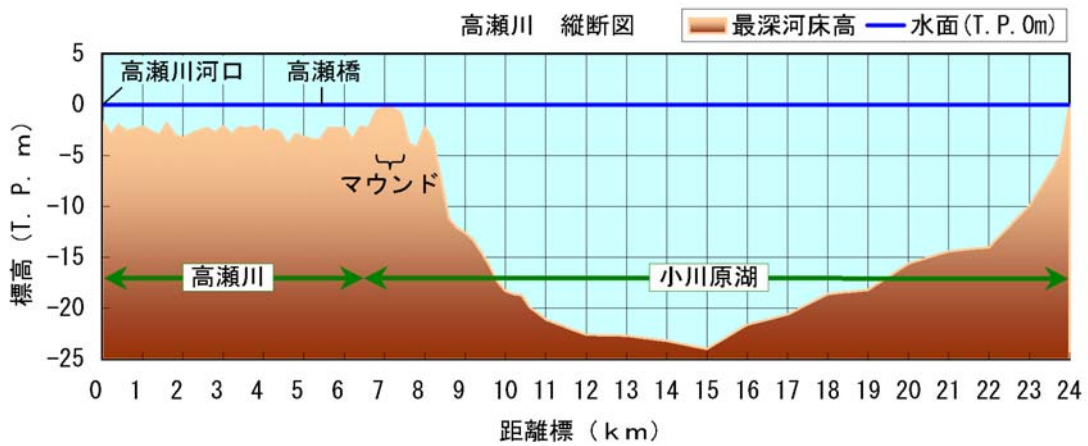


図 8.1 直轄区間における最深河床高の変化